

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅶ		担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	<p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p>			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p>			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	イベント制作演習①		
2	演習	イベント制作演習②		
3	演習	イベント制作演習③		
4	演習	イベント制作演習④		
5	講義	新人発掘プレゼンテーションガイダンス④		
6	講義	オーディション対策		
7	講義	イベント現場のルール		
8	講義	契約書について		
9	講義	ITリテラシー(メール)		
10	講義	ITリテラシー(時事問題)		
11	講義	目標シート作成②		
12	講義	マナー講座(保険、税金、確定申告)		
13	講義	著作権について		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3.課題(100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅷ		担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	703教室
授業の到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、 社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑤		
2	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス⑥		
3	演習	定量的目的と定性的目的について		
4	演習	社会人基礎力⑦発信力		
5	講義	社会人基礎力⑧傾聴力		
6	講義	社会人基礎力⑨柔軟性		
7	講義	社会人基礎力⑩状況把握力		
8	講義	社会人基礎力⑪規律力		
9	講義	社会人基礎力⑫ストレスコントロール力		
10	講義	文書作成について、5W1Hについて		
11	講義	イベント制作演習⑤		
12	講義	イベント制作演習⑥		
13	講義	イベント制作演習⑦		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習				
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題 (100%)		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	HIPHOPVII	担当教員名	(HASSY)橋田 慧一	
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	難しい動きのある振付もしっかりと身体をコントロールし、自分が思うように踊ることが出来る			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ただ動くのではなく、自己表現として、自分のアピールをするためのヒントを伝える			
【実務経験】	GATSBY STYLING DANCE CONTEST日本2位、KPOPグループ”ZE:A”バックダンサー			
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション		
2	演習	振付1		
3	演習	振付1のつづき		
4	演習	振付1のつづき		
5	演習	振付2		
6	演習	振付2のつづき		
7	演習	振付2のつづき		
8	演習	振付3		
9	演習	振付3のつづき		
10	演習	振付3のつづき		
11	演習	試験に向けての復習		
12	演習	試験内容の練習		
13	演習	試験		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	チャレンジする、自分を超えていくことの大切さを学んでください。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	HIPHOPⅧ	担当教員名	(HASSY)橋田 慧一	
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	難しい動きのある振付もしっかりと身体をコントロールし、自分が思うように踊ることが出来る			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ただ動くのではなく、自己表現として、自分のアピールをするためのヒントを伝える			
【実務経験】	GATSBY STYLING DANCE CONTEST日本2位、KPOPグループ”ZE:A”バックダンサー			
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション		
2	演習	振付1		
3	演習	振付1のつづき		
4	演習	振付1のつづき		
5	演習	振付2		
6	演習	振付2のつづき		
7	演習	振付2のつづき		
8	演習	振付3		
9	演習	振付3のつづき		
10	演習	振付3のつづき		
11	演習	試験に向けての復習		
12	演習	試験内容の練習		
13	演習	試験		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	チャレンジする、自分を超えていくことの大切さを学んでください。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZVII	担当教員名	吉川 優美子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
学生を持つ身体能力を高め、さらなるダンステクニックの向上、表現力を身につける。			
授業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸センター…身体の内側からのエネルギーをコントロールする ・バーレッスン…バレエテクニックと共に身体を緩めるリソーステクニックを学ぶ ・コンビネーション…振付の理解力・表現力・クリエイティブ力を身につける 			
【実務経験】			
Jennifer Muller/The Worksに12年間在籍、世界各国公演ワークショップを行う			
回数	授業形態	内容	
1	演習	呼吸センター、バーレッスン、コンビネーション、クロスフロアー	
2	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
3	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
4	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
5	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
6	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
7	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
8	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
9	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
10	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
11	演習	テスト	
12	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
13	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価: 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZⅧ	担当教員名	吉川 優美子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標			
学生を持つ身体能力を高め、さらなるダンステクニックの向上、表現力を身につける。			
授業の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸センター…身体の内側からのエネルギーをコントロールする ・バーレッスン…バレエテクニックと共に身体を緩めるリソーステクニックを学ぶ ・コンビネーション…振付の理解力・表現力・クリエイティブ力を身につける 			
【実務経験】			
Jennifer Muller/The Worksに12年間在籍、世界各国公演ワークショップを行う			
回数	授業形態	内容	
1	演習	呼吸センター、バーレッスン、コンビネーション、クロスフロアー	
2	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
3	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
4	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
5	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
6	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
7	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
8	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
9	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
10	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
11	演習	テスト	
12	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
13	演習	呼吸センター、バーレッスン、(学生のレベルと共に変更…コンビネーション、クロスフロアー)	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価: 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	チャレンジする気持ちと自分を向き合う強さを大切に一緒に頑張ろう		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅦ		担当教員名	角野由佳
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上をさらに強化			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するバレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DAバレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	実技	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	実技	バーレッスン、センターレッスン		
3	実技	バーレッスン、センターレッスン		
4	実技	バーレッスン、センターレッスン		
5	実技	バーレッスン、センターレッスン		
6	実技	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	実技	バーレッスン、センターレッスン		
8	実技	バーレッスン、センターレッスン		
9	実技	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	実技	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	実技	試験の振付		
12	実技	試験		
13	実技	後期に向けての課題確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅧ		担当教員名	角野由佳
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上をさらに強化			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するバレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSMバレエ講師…1995年～2005年、DAバレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	実技	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	実技	バーレッスン、センターレッスン		
3	実技	バーレッスン、センターレッスン		
4	実技	バーレッスン、センターレッスン		
5	実技	バーレッスン、センターレッスン		
6	実技	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	実技	バーレッスン、センターレッスン		
8	実技	バーレッスン、センターレッスン		
9	実技	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	実技	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	実技	試験の振付		
12	実技	試験		
13	実技	後期に向けての課題確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生へのメッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	JAZZ HIPHOPⅢ	担当教員名	島谷 有香(yu-ka)	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	音楽をしっかり聴き音に合った表現の仕方を身につける。 個性を見つけ表現力へと繋げる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ、筋トレ、基礎、ルーティーン			
【実務経験】JAMOSA/MINMI/青山テルマ/GENERATIONS/EXILE バックダンサー 関西コレクション KCEステージ振付				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチや基礎を重点的に		
2	演習	アイソレーションの強化		
3	演習	アイソレーションの応用		
4	演習	ポージング、ウォーキングの仕方		
5	演習	身体の線の見せ方		
6	演習	表現表情の出し方		
7	演習	スローな音楽での身体の動かし方		
8	演習	アップテンポな音楽での身体の動かし方		
9	演習	ルーティーンをクリアに踊る		
10	演習	ルーティーンに自分の色を付ける		
11	演習	ルーティーン+フリーの強化		
12	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす		
13	演習	試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ・筋トレでダンスに必要な体づくりをする			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎週の継続性と積み重ねが大切です。いろいろな音楽を聴きストリートダンスの楽しさを 知って欲しいです。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	JAZZ HIPHOPIV	担当教員名	島谷 有香(yu-ka)	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	音楽をしっかり聴き音に合った表現の仕方を身につける。 個性を見つけ表現力へと繋げる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ストレッチ、筋トレ、基礎、ルーティーン			
【実務経験】JAMOSA/MINMI/青山テルマ/GENERATIONS/EXILE バックダンサー 関西コレクション KCEステージ振付				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチや基礎を重点的に		
2	演習	アイソレーションの強化		
3	演習	アイソレーションの応用		
4	演習	ポージング、ウォーキングの仕方		
5	演習	身体の線の見せ方		
6	演習	表現表情の出し方		
7	演習	スローな音楽での身体の動かし方		
8	演習	アップテンポな音楽での身体の動かし方		
9	演習	ルーティーンをクリアに踊る		
10	演習	ルーティーンに自分の色を付ける		
11	演習	ルーティーン+フリーの強化		
12	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす		
13	演習	試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ・筋トレでダンスに必要な体づくりをする			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎週の継続性と積み重ねが大切です。いろいろな音楽を聴きストリートダンスの楽しさを知って欲しいです。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZゼミ I	担当教員名	久次亜希子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	基礎の徹底、振付を覚えてから自分で考えて味わいを出す。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するストレッチと筋トレ。ウォームアップ。バーレッスン。クロスフロア。コンビネーション。		
【実務経験】OSM、DAにて20年非常勤講師として勤務。2018年よりDA東京でも教え始める。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	アップの説明。一通りのクロスフロア。	
2	演習	立ち方について。ピルエットのプレパレーション。	
3	演習	ロールアップダウン、フラットバックについて。	
4	演習	ボールを使って平行で立つ。	
5	演習	プリエについて。	
6	演習	タンデュについて。	
7	演習	体重移動①	
8	演習	体重移動②	
9	演習	クロスフロア強化。回転もの。	
10	演習	クロスフロア強化。ロンデジャンプ。	
11	演習	クロスフロア強化。シェネジュッテ	
12	演習	テスト	
13	演習	前期振り返り	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	前の週にやった振りの練習等。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	自分のクセというのは立ち姿勢でさえもそれぞれあるものですが、これを直していかないとダンサーとして困ることがたくさんあります。少しずつでも直していきましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZゼミ II	担当教員名	久次亜希子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	基礎の徹底、振付を覚えてから自分で考えて味わいを出す。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するストレッチと筋トレ。ウォームアップ。バーレッスン。クロスフロア。コンビネーション。		
【実務経験】	OSM、DAにて20年非常勤講師として勤務。2018年よりDA東京でも教え始める。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	アップの説明。一通りのクロスフロア。	
2	演習	立ち方について。ピルエットのプレパレーション。	
3	演習	ロールアップダウン、フラットバックについて。	
4	演習	ボールを使って平行で立つ。	
5	演習	プリエについて。	
6	演習	タンデュについて。	
7	演習	体重移動①	
8	演習	体重移動②	
9	演習	クロスフロア強化。回転もの。	
10	演習	クロスフロア強化。ロンデジャンプ。	
11	演習	クロスフロア強化。シェネジュッテ	
12	演習	テスト	
13	演習	前期振り返り	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	前の週にやった振りの練習等。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	自分のクセというのは立ち姿勢でさえもそれぞれあるものですが、これを直していかないとダンサーとして困ることがたくさんあります。少しずつでも直していきましょう。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツゼミ		
授業名	パフォーミングアーツゼミⅢ	担当教員名	佐藤 和央	
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	パフォーミングアーツゼミⅠ・Ⅱを踏まえてさらに作品を演出・振り付けし、伝える・演じる・踊ることをアイデアをプレゼンテーションし、様々な視点でブラッシュアップしていくこと、これらの実践を通して学び必要なスキルと姿勢を習得する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する (1)様々なダンス作品の既存のアイデアとその歴史を知り、オリジナルのアイデアを考える。 (2)他社のアイデア・表現の良さを見つけ、自身のアイデア・表現をプレゼンしディスカッションする。 (3)作品を創り、演じ、ブラッシュアップする過程で観客に伝わる圧力のある表現とは何かを学ぶ。			
【実務経験】アーティストライブ・ツアー 演出及び振り付け(米津玄師2019LIVE、加藤ミリヤ2019Tour)、映画劇中ダンス振り付け(土屋太鳳主演「累」)、ほかMV・CMなど振り付け				
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション フォーメーション&プロップを用いた小作品制作		
2	演習	作品制作 主題&イマジネーションの核となるものを決定		
3	演習	作品制作 起の場面 動きのモチーフ作り、演出のビッグヴィジョンを決定		
4	演習	作品制作 起の場面 動きのブラッシュアップ、音楽のカウント化、時間構成を決定		
5	演習	作品制作 承の場面 視点の誘導、空間の流れ、空間の色(照明)について考える		
6	演習	作品制作 承の場面 フォーメーションを用いた動き作り		
7	演習	作品制作 転の場面 音を体現する動き作り 動きや場面を積み重ねる展開		
8	演習	作品制作 転の場面 結の場面に向かう圧力のある場面を創る		
9	演習	作品制作 結の場面 作品の終わりの場面を創る		
10	演習	作品制作 結の場面 全体を通して踊りこむ中での課題を解決する		
11	演習	作品制作 結の場面 ミクロとマクロ 両視点で作品を客観視しブラッシュアップする		
12	演習	作品制作のまとめ 踊り手の高め方 作品のクオリティについて考える		
13	演習	ステージを終えて フィードバック		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	次の時間に取り組む場面の構想・アイデアを考えてきてください。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	今、振付師・ダンサーの立場に関わらず、独自のアイデアとセンス、そして異なる価値観や考えを持つ人々と、より良い関係を築いていくコミュニケーション能力が求められています。 授業内でたくさんチャレンジと失敗を重ね、未来に活かしていける経験をしてもらいたいと願っています。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツゼミ		
授業名	パフォーミングアーツゼミⅣ	担当教員名	佐藤 和央	
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	パフォーミングアーツゼミⅠ・Ⅱを踏まえてさらに作品を演出・振り付けし、伝える・演じる・踊ることをアイデアをプレゼンテーションし、様々な視点でブラッシュアップしていくこと、これらの実践を通して学び必要なスキルと姿勢を習得する。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する (1)様々なダンス作品の既存のアイデアとその歴史を知り、オリジナルのアイデアを考える。 (2)他社のアイデア・表現の良さを見つけ、自身のアイデア・表現をプレゼンしディスカッションする。 (3)作品を創り、演じ、ブラッシュアップする過程で観客に伝わる圧力のある表現とは何かを学ぶ。			
【実務経験】アーティストライブ・ツアー 演出及び振り付け(米津玄師2019LIVE、加藤ミリヤ2019Tour)、映画劇中ダンス振り付け(土屋太鳳主演「累」)、ほかMV・CMなど振り付け				
回数	授業形態	内容		
1	演習	オリエンテーション フォーメーション&プロップを用いた小作品制作		
2	演習	作品制作 主題&イマジネーションの核となるものを決定		
3	演習	作品制作 起の場面 動きのモチーフ作り、演出のビッグヴィジョンを決定		
4	演習	作品制作 起の場面 動きのブラッシュアップ、音楽のカウント化、時間構成を決定		
5	演習	作品制作 承の場面 視点の誘導、空間の流れ、空間の色(照明)について考える		
6	演習	作品制作 承の場面 フォーメーションを用いた動き作り		
7	演習	作品制作 転の場面 音を体現する動き作り 動きや場면을積み重ねる展開		
8	演習	作品制作 転の場面 結の場面に向かう圧力のある場面を創る		
9	演習	作品制作 結の場面 作品の終わりの場面を創る		
10	演習	作品制作 結の場面 全体を通して踊りこむ中での課題を解決する		
11	演習	作品制作 結の場面 ミクロとマクロ 両視点で作品を客観視しブラッシュアップする		
12	演習	作品制作のまとめ 踊り手の高め方 作品のクオリティについて考える		
13	演習	ステージを終えて フィードバック		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	次の時間に取り組む場面の構想・アイデアを考えてきてください。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1、実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	今、振付師・ダンサーの立場に関わらず、独自のアイデアとセンス、そして異なる価値観や考えを持つ人々と、より良い関係を築いていくコミュニケーション能力が求められています。 授業内でたくさんチャレンジと失敗を重ね、未来に活かしていける経験をしてもらいたいと願っています。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		インテンシブコミュニケーション		
授業名	インテンシブコミュニケーションⅢ	担当教員名	ジェフリー バーネット	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	803
授業の到達目標	英語を用いてダンスレッスンが出来るようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する外国講師に向けて模擬ダンスレッスンを行い、英語会話力、コミュニケーション力を学ぶ。			
【実務経験】	2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
日程	授業形態	内容		
1	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
2	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
3	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
4	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
5	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
6	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
7	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
8	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
9	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
10	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
11	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
12	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
13	演習	総復習		
14	演習	本試験		
15	演習	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		インテンシブコミュニケーション		
授業名	インテンシブコミュニケーションⅣ	担当教員名	ジェフリー バーネット	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	英語を用いてダンスレッスンが出来るようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する外国講師に向けて模擬ダンスレッスンを行い、英語会話力、コミュニケーション力を学ぶ。			
【実務経験】	2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
日程	授業形態	内容		
1	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
2	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
3	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
4	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
5	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
6	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
7	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
8	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
9	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
10	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
11	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
12	演習	英語によるダンスレッスンの運営		
13	演習	総復習		
14	演習	本試験		
15	演習	試験返却、解説、ポストテスト		
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパードダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	アクション I	担当教員名	株式会社 倉田プロモーション
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	アクションを通して、技術もそうですが挨拶や話の受け答えの大切さを学んでもらう事を目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際の撮影現場で行われたアクションを再現し、それについて解説をしながら、生徒がアクションを体現することが出来る。		
【実務経験】映画：関ヶ原、引っ越し大名 ドラマ：ミナミの帝王 舞台、CM、イベント 等			
回数	授業形態	内容	
1	演習	基本動作、立ち回りが出来るようになる	
2	演習	基本動作、マット(受け身)、立ち回りが出来るようになる	
3	演習	基本動作、マット(受け身)、立ち回りが出来るようになる	
4	演習	基本動作、マット(受け身、リアクション)、立ち回りが出来るようになる	
5	演習	マット(受け身、リアクション)、立ち回り(1:大人数)が出来るようになる	
6	演習	基本動作、マット(受け身、リアクション)、立ち回りが出来るようになる	
7	演習	応用動作、マット(受け身、リアクション)、立ち回りが出来るようになる	
8	演習	応用動作、マット(受け身、リアクション)、立ち回りが出来るようになる	
9	演習	トランポリン、トランポリンアクションを理解することが出来る	
10	演習	応用動作、マット(受け身、リアクション)、立ち回りが出来るようになる	
11	演習	応用動作、マット(受け身、リアクション)、立ち回りが出来るようになる	
12	演習	実技試験の内容発表、練習	
13	演習	実技試験	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	自宅等で柔軟をし、体を柔らかくする		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験(60%) 3.課題(40%)	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	皆が現場に出た時に、少しでも役に立ったと思える授業にしたいと思っております。 よろしくお願ひ致します。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	アクションII	担当教員名	株式会社 倉田プロモーション
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	アクションを通じて、第一にコミュニケーション能力の向上、その上で技術を学んで頂き、プロで活躍出来る事を目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実際の撮影、舞台、イベントの現場で行われたプロのアクションシーンを再現し解説をしながら、実際に生徒様にアクションの体験をして頂く。		
【実務経験】(映画)High&Low・超高速参勤交代・引越大名 (ドラマ)ミナミの帝王ZERO CM・イベント(キャラクターショー・交通安全教室)			
回数	授業形態	内容	
1	演習	アクションの様々な動きの解説、体験。立ち回り。	
2	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
3	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
4	演習	マット(受け身、リアクション)障害物を置いてのアクション	
5	演習	マット(受け身、リアクション)トランポリンを使ったアクション	
6	演習	マット(受け身、リアクション)基本動作(突き、蹴り)立ち回り	
7	演習	グループ分けをし、自分達でアクションを作る	
8	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
9	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
10	演習	立ち回り(1人VS多人数)	
11	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
12	演習	マット(受け身、リアクション)応用動作(突き、蹴り)立ち回り	
13	演習	グループ分けをし、自分達でアクションを作る	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	自宅等で柔軟をし、体を柔らかくする		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験(70%) 3.課題(30%)	
教材	教科書	特になし	
	参考書	特になし	
学生への メッセージ	皆さんが現場へ出た時に、アクションの授業を受けておいて良かったと、役に立ったと思えるような授業にしていきたいと、考えています！		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅶ	担当教員名	中川 浩三	
時間数	90	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度) あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。			
【実務経験】 1989～1994まで劇団そばこまち在籍(座長、生瀬勝久)。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「わろてんか」「べっぴんさん」「あさが来た」「ごちそうさん」、映画「居眠り磐音」「超高速参勤交代リターンズ」「駆込み女と駆出し男」など。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業内容説明。肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
4	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。		
5	演習	発表①		
6	演習	肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。		
7	演習	肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。		
8	演習	肉錬、発声。発表②に向けての創作活動。		
9	演習	発表②		
10	演習	肉錬、発声。発表③に向けての創作活動。		
11	演習	肉錬、発声。発表③に向けての創作活動。		
12	演習	発表③。夏期課題説明。		
13	演習	夏期課題発表		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ	遊びこそ真剣に遊べ。 エンターテインメントは遊びなんだ。 遊びを遊びで終わらすのは素人である。 遊びを真剣に遊べるバカこそ、真のエンターテイナー。			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	舞台プロジェクト(リコモーション)Ⅳ	担当教員名	中川 浩三
時間数	90	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 月1回ペースでのグループ発表。(5～10分程度) あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。		
【実務経験】 1989～1994まで劇団そばこまち在籍(座長、生瀬勝久)。退団後もTV、舞台等幅広く活動。 近年の主な出演にNHK連続テレビ小説「わろてんか」「べっぴんさん」「あさが来た」「ごちそうさん」、映画「居眠り磐音」「超高速参勤交代リターンズ」「駆込み女と駆出し男」など。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。	
2	演習	肉錬、発声。発表①に向けての創作活動。	
3	演習	発表①	
4	演習	公演出演者オーディション実施・決定	
5	演習	稽古開始。台本(一部)使用。	
6	演習	稽古	
7	演習	稽古。上演台本完成予定。キャスト決定。	
8	演習	稽古	
9	演習	稽古	
10	演習	稽古	
11	演習	稽古	
12	演習	稽古。以降集中稽古。	
13	演習	卒業・進級公演の総括。	
14	演習		
15	演習		
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書	特になし	
	参考書	特になし	
学生への メッセージ	遊びこそ真剣に遊べ。 エンターテインメントは遊びなんだ。 遊びを遊びで終わらすのは素人である。 遊びを真剣に遊べるバカこそ、真のエンターテイナー。		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト(吉本)IV	担当教員名	大工 富明	
時間数	120	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	801.2教室
授業の到達目標	学園祭の新喜劇公演を通じて笑いを取りながら、演じることが出来る。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 吉本新喜劇を演じるに関してスキルを身につけられるようなエチュードをさせていきスキルアップを目指す授業をしていきます			
【実務経験】吉本新喜劇の作・演出を30年以上				
回数	授業形態	内容		
1	演習	新喜劇のエチュード基礎編		
2	演習	新喜劇のエチュード基礎編2		
3	演習	笑いの作り方		
4	演習	滑舌のエチュード。ルールに沿って笑いを作るエチュード		
5	演習	学園祭新喜劇稽古		
6	演習	学園祭新喜劇稽古2		
7	演習	学園祭新喜劇稽古3		
8	演習	学園祭反省会		
9	演習	新喜劇稽古1		
10	演習	新喜劇稽古2		
11	演習	新喜劇稽古3		
12	演習	新喜劇稽古4		
13	演習	発表		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業内容をよく理解し翌週までに練習をしておく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技試験を100%		
教材	教科書	オリジナルのミニ台本		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	笑いを取りながら演じる喜びを知ってほしい			

スーパードダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	PC I	担当教員名	吉村元子
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	1.歌を中心とした音楽的なスキルアップ。2.それぞれの進路に応じた職業感を身につける。		
授業の内容	各学生に応じたヴォーカルレッスン及びカウンセリングが主な内容。各人の進路や状況に応じて、今必要なことをレッスンしていきます。		
【実務経験】1998年大阪音楽大学声楽学科卒業。教員免許取得。在学中よりバックコーラスとして宝塚歌劇団や、TV、CM、コンサート、舞台等に出演。オペラや演奏会など活動を続けながら、2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	それぞれが目指す活動内容に応じた目標を設定する。	
2	演習	個人レッスン	
3	演習	個人レッスン	
4	演習	個人レッスン	
5	演習	個人レッスン	
6	演習	個人レッスン	
7	演習	個人レッスン	
8	演習	個人レッスン	
9	演習	個人レッスン	
10	演習	個人レッスン	
11	演習	個人レッスン	
12	演習	個人レッスン	
13	演習	個人レッスン	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	課題とする楽曲の研究と歌唱練習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	皆さんの音楽活動に今必要なスキルアップを考え、仕事に必要なことを学ぶ貴重な個人レッスンの時間です。継続は力なり。目標達成の為に、共に頑張りましょう！		

スーパードダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	PC II	担当教員名	吉村元子
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>①歌を中心とした音楽的なスキルアップを考え、計画的にレッスンを重ねることにより、音楽活動をセルフプロデュースできるようになる。②それぞれの進路に応じた職業感を身につけることができる。</p>		
授業の内容	<p>各学生に応じたヴォーカルレッスン及びカウンセリングが主な内容。各人の進路や状況に応じて、今必要なことをレッスンしていきます。</p>		
<p>【実務経験】1998年大阪音楽大学声楽学科卒業。教員免許取得。在学中よりバックコーラスとして宝塚歌劇団や、TV、CM、コンサート、舞台等に出演。オペラや演奏会など活動を続けながら、2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。</p>			
回数	授業形態	内容	
1	演習	それぞれが目指す活動内容に応じた目標を設定する。	
2	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
3	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
4	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
5	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
6	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
7	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
8	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
9	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
10	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
11	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
12	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
13	演習	個々の目標に応じた個人レッスンで音楽的スキル、職業感を身につける。	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	課題とする楽曲の研究と歌唱練習		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	皆さんの音楽活動に今必要なスキルアップを考え、仕事に必要なことを学ぶ貴重な個人レッスンの時間です。継続は力なり。目標達成の為に、共に頑張りましょう！		

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション		
授業名	Working Skill II	担当教員名	iri	
時間数	60	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	EN232
授業の到達目標	音楽の様々な仕事現場で対応出来るスキル獲得。用語、セオリーなどを習得し、音楽的コミュニケーション向上を測る。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
Exerciseプリントを用いて、リズムやハーモニー、グルーブなどの基礎練習。 スタンダード曲を演習。メインボーカルはもちろん、主にコーラスワークを練習。				
【実務経験】1996年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、ゴスペルやボーカルグループなどの活動と平行して、2000年頃よりボーカルインストラクターとして活動開始。現在まで様々なアーティストを育成、排出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各個人のレベルチェック		
2	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
3	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
4	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
5	演習	発声&リズムトレーニング。		
6	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
7	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
8	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
9	演習	全員共通課題を使い、ハーモニーや声のアンサンブルを出来るようにする。		
10	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
11	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
12	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
13	演習	課題曲を使い、それぞれのレベルに合った歌唱技術の課題項目を出来るようにする。		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	課題曲譜面作成、予習、復習。アンサンブル、コーラス練習。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1) 実技試験 100%		
教材	教科書	Exerciseプリント		
	参考書			
学生への メッセージ	自身のバンド、スタジオミュージシャン、サポートミュージシャンなど、 様々な音楽の現場で即戦力となるスキルを習得する科目です。 スキルを増やし、音楽が今よりもさらに楽しくなる感覚を感じて欲しいです！			

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングプロジェクト		
授業名	アクティングプロジェクトⅦ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。				
授業の内容				
スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。 本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	台本制作		
2	演習	台本制作		
3	演習	台本制作		
4	演習	台本制作		
5	演習	台本制作		
6	演習	キャスティングオーディション		
7	演習	演出		
8	演習	演出		
9	演習	演出		
10	演習	演出		
11	演習	演出		
12	演習	演出		
13	演習	本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価:100%	
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		アクティングプロジェクト		
授業名	アクティングプロジェクトⅣ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。</p>			
授業の内容	<p>スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。 本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。</p>			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	台本制作		
2	演習	台本制作		
3	演習	台本制作		
4	演習	台本制作		
5	演習	台本制作		
6	演習	キャスティングオーディション		
7	演習	演出		
8	演習	演出		
9	演習	演出		
10	演習	演出		
11	演習	演出		
12	演習	演出		
13	演習	本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技評価:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ヴォーカルプロジェクト	
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅦ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ(編曲)されたボーカル+コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるように促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会+今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡し→アンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン(楽譜音源管理) 衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ](音楽之友社)全巻 [全訳 コールユーブンゲン](全音楽譜出版社)1~3巻 ※いずれも抜粋使用		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ヴォーカルプロジェクト	
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅧ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する 2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ(編曲)されたボーカル+コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるように促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会+今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡し→アンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン(楽譜音源管理) 衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ](音楽之友社)全巻 [全訳 コールユーブンゲン](全音楽譜出版社)1~3巻 ※いずれも抜粋使用		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ダンスプロジェクト	
授業名	ダンスプロジェクトⅦ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。				
授業の内容				
振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。 本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	楽曲決め		
2	演習	振付制作		
3	演習	振付構成制作		
4	演習	衣裳制作		
5	演習	照明案制作		
6	演習	最終リハーサル		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	楽曲決め		
9	演習	振付制作		
10	演習	振付構成制作		
11	演習	衣裳制作		
12	演習	照明案制作		
13	演習	本番及び試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価:100%	
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目			ダンスプロジェクト	
授業名	ダンスプロジェクトⅧ		担当教員名	
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。				
授業の内容				
振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。 本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	楽曲決め		
2	演習	振付制作		
3	演習	振付構成制作		
4	演習	衣裳制作		
5	演習	照明案制作		
6	演習	最終リハーサル		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	楽曲決め		
9	演習	振付制作		
10	演習	振付構成制作		
11	演習	衣裳制作		
12	演習	照明案制作		
13	演習	本番及び試験		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技評価:100%	
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		イベントディレクション		
授業名	イベントディレクションⅢ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
イベントの制作業務全般について、理解し、整理することが出来る。また制作業務の割り振りが出来、リーダーとしての役割を理解する。				
授業の内容				
学内イベントにおいて、コンセプトミーティングから参加をし、プロデューサー・演出家・テクニカルスタッフ・出演者らと連携をとり、スムーズなイベント運営、制作業務を行う。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	制作会議(組織図づくり)		
3	演習	制作会議(全体スケジュール)		
4	演習	制作会議(オーディション)		
5	演習	制作会議(リハーサルスケジュール)		
6	演習	出演者オーディション		
7	演習	制作会議(テクニカルミーティング)		
8	演習	制作会議(出演者ミーティング)		
9	演習	制作会議(外部リハーサルに向けて)		
10	演習	外部リハーサル		
11	演習	制作会議(全体ミーティング)		
12	演習	本番にむけた最終ミーティング		
13	演習	イベント本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	制作会議の議題・議事録等設定			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		イベントディレクション		
授業名	イベントディレクションⅣ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
イベントの制作リーダーとして制作業務全般を取り仕切ることが出来る。				
授業の内容				
学内イベントにおいて、コンセプトミーティングから参加をし、プロデューサー・演出家・テクニカルスタッフ・出演者らと連携をとり、スムーズなイベント運営、制作業務を行う。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	制作会議(組織図づくり)		
3	演習	制作会議(全体スケジュール)		
4	演習	制作会議(オーディション)		
5	演習	制作会議(リハーサルスケジュール)		
6	演習	出演者オーディション		
7	演習	制作会議(テクニカルミーティング)		
8	演習	制作会議(出演者ミーティング)		
9	演習	制作会議(外部リハーサルに向けて)		
10	演習	外部リハーサル		
11	演習	制作会議(全体ミーティング)		
12	演習	本番にむけた最終ミーティング		
13	演習	イベント本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	制作会議の議題・議事録等設定			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				

スーパードダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		インセンティブパフォーマンス		
科目名	インセンティブパフォーマンスⅢ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1～3年次に教養科目・専門科目・協働科目で学んだことを活かして、ハイクオリティな独自のパフォーマンスを構築することができる。				
授業の内容				
セルフマネジメント・チームマネジメントを学び、作品制作にむけた技術・知識・人間力をつける。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトワーク		
2	演習	パフォーマンス制作		
3	演習	パフォーマンスチェック		
4	演習	パフォーマンス制作		
5	演習	パフォーマンスチェック		
6	演習	パフォーマンス制作		
7	演習	パフォーマンスチェック		
8	演習	パフォーマンス制作		
9	演習	パフォーマンスチェック		
10	演習	パフォーマンス制作		
11	演習	パフォーマンスチェック		
12	演習	直前リハーサル		
13	演習	中間発表(試験)		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		インセンティブパフォーマンス		
科目名	インセンティブパフォーマンスⅣ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
1～3年次に教養科目・専門科目・協働科目で学んだことを活かして、ハイクオリティな独自のパフォーマンスを構築することが出来る。				
授業の内容				
セルフマネジメント・チームマネジメントを学び、作品制作にむけた技術・知識・人間力をつける。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトワーク		
2	演習	パフォーマンス制作		
3	演習	パフォーマンスチェック		
4	演習	パフォーマンス制作		
5	演習	パフォーマンスチェック		
6	演習	パフォーマンス制作		
7	演習	パフォーマンスチェック		
8	演習	パフォーマンス制作		
9	演習	パフォーマンスチェック		
10	演習	パフォーマンス制作		
11	演習	パフォーマンスチェック		
12	演習	直前リハーサル		
13	演習	卒業制作展にて発表(試験)		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1. 実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		セルフプロデュース		
科目名	セルフプロデュースⅢ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 前期
曜日・時限		選択	1	
授業の到達目標	アントレプレナーとして業界で働くために必要な自分自身をプロデュースするための知識・テクノロジーを身につける。			
授業の内容	1・2年次で学んだパソコンスキルを用いて、自分自身を世の中に向けて発信する方法を学ぶ。自分自身のストロングポイント・特性を理解し、PDCAサイクルを回すことによりさらなる強みの強化につなげていく。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	講義	プロモーション概論		
2	講義	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
3	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
4	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
5	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
6	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
7	演習	プロモーション概論		
8	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
9	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
10	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
11	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
12	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
13	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		セルフプロデュース		
科目名	セルフプロデュースⅣ	担当教員名		
時間数	30	必修・選択	配当年次	4年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	アントレプレナーとして業界で働くために必要な自分自身をプロデュースするための知識・テクノロジーを身につける。			
授業の内容	1・2年次で学んだパソコンスキルを用いて、自分自身を世の中に向けて発信する方法を学ぶ。自分自身のストロングポイント・特性を理解し、PDCAサイクルを回すことによりさらなる強みの強化につなげていく。			
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	プロモーション概論		
2	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
3	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
4	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
5	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
6	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
7	演習	プロモーション概論		
8	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
9	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
10	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
11	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
12	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
13	演習	各個人に合わせて必要なコンテンツ制作		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3. 課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

スーパーダンス科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		専門留学		
科目名	専門留学 II	担当教員名		
時間数	180	必修・選択	配当年次	4年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
ブロードウェイダンスセンターもしくはペリダンスセンターにて3ヶ月から1年間の海外専門留学を通して、現地での専門技術、コミュニケーション技術、国際感覚を身につける。				
授業の内容				
ブロードウェイダンスセンターもしくはペリダンスセンターにて3ヶ月から1年間の海外専門留学。				
【実務経験】				
回数	授業形態	内容		
1	演習	専門留学		
2	演習	専門留学		
3	演習	専門留学		
4	演習	専門留学		
5	演習	専門留学		
6	演習	専門留学		
7	演習	専門留学		
8	演習	専門留学		
9	演習	専門留学		
10	演習	専門留学		
11	演習	専門留学		
12	演習	専門留学		
13	演習	専門留学		
14	演習	専門留学		
15	演習	専門留学		
準備学習 時間外学習	毎週の留学制作レポート報告			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1. 課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				